



E-Defense

E-Defense Today

(Published by E-Defense, NIED, July 23, 2015, Vol.11 No.2)

震災対策技術展（大阪）を終えて

6月4日（木）から6月5日（金）にかけて、震災対策技術展（大阪）が開催されました。会場は、近年大きく改修された大阪駅に直結したグランフロント大阪内のコングレションセンターという非常にすばらしいところでしたが、前日研究課題の応募資料作成のために徹夜し寝ぼけていたためか私にはわかりにくく迷いながらたどり着きました。震災対策技術展は、毎年横浜、宮城でも開催されており、大阪では今年が2回目の開催となります。開催期間中、我が研究所では出展ブースを借り出展を行い、つくば本所のアウトリーチグループを中心とした方々と、E-ディフェンスの井上副センター長、田端主任研究員、佐々木研究員が、ご来場された関西地区の皆様へ、E-ディフェンスのみならず、観測網、地震動予測地図など防災科研全体の取り組みを、笑顔を持って丁寧に紹介しておりました。展示は大変好評で、配布させていただいた資料が2日目の午前中にはなくなるという状況でした。主催者による公式登録総来場者数は9,227名（2014年は総数8,923名）で、今年2月に開催された横浜での震災対策技術展の公式登録総来場者数15,039名（主催者発表）と比較し、会場の規模などを考えますと大盛況だったのではないかと思います。

そんな中、徹夜明けの私は何をしていたかと申しますと、ただふらふらと会場を徘徊していたわけではなく、6月5日の午後に「E-ディフェンスの10年間の歩みとこれからの課題」と題した講演をさせていただきました。講演には約100名の方（主催者の集計）にお越しいただき、運用開始から10年となったE-ディフェンスについて、昨年度末までに69課題の実験を大きなトラブルもなく実施し、様々な成果を出し続けていることを紹介させていただきつつ、E-ディフェンスの実験結果から得られた地震対策の重要性を述べさせていただきました。講演の冒頭に聴衆の皆様へ、「E-ディフェンスを知っていますか？」と尋ねさせていただいたところ、約8割を超える方（正確な数字ではなく、雰囲気ですが）に知っていたっており、その結果に感謝と感激の思いで、込み上げるものがありました。

本技術展および講演にお越しいただいた皆様は、地震（対策）に興味・関心をお持ちの方々であり、ここでE-ディフェンスの研究成果を紹介させていただき、地震対策の重要性を述べさせていただいたことは、E-ディフェンスの成果の展開の1つとして非常に重要な取り組みであると考えています。しかしながら、



【講演での風景】

まだ地震対策に興味・関心をお持ちでない方も多く、その方々に関心を持っていただく取り組みを行うこともE-ディフェンスの1つの重要な使命であり、様々な機会においてE-ディフェンスの成果を知っていただくよう努力していく必要があると、技術展を終えて、改修された大阪駅を眺めながら感じました。最後にE-ディフェンスの研究成果を紹介させていただき貴重な機会をご提供いただきました関係者の皆様へ感謝申し上げます。

（文責：主任研究員 佐藤 栄児）



【防災科研の展示ブース】